

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 7 年度病虫害発生予察技術情報第 5 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 5 号（果樹カメムシ類）を発表したので送付します。

技術情報第 5 号

1 対象作物：果樹全般

2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ他）

3 発生予報：発生量： 少

発生時期：スギ・ヒノキ樹に寄生している果樹カメムシは、餌である球果が劣化するまでスギ・ヒノキ樹に留まり、劣化後に離脱して果樹園等へ飛来し加害する。7 月 5 半旬の球果の状況より、離脱時期は 9 月 3 半旬頃の地域が多いと予測される。

4 予報の根拠

(1) ヒノキ球果口針鞘数の状況

県下 14 地点の定点調査結果は次項表のとおり。

県下平均：0.6 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 12 日頃

朝倉地域：0.0 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 15 日頃

久留米地域：0.2 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 13 日頃

筑後地域：2.0 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 8 日頃

県北地域：0.3 本/果 ⇒ 離脱時期予測は 9 月 11 日頃

(2) 果樹カメムシ類の発生状況、およびヒノキ球果結実程度

筑紫野市における、チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺数は昨年度より少ない。過去 3 か年との比較は、下記のとおり。

2025 年度：越冬量 0.1 頭/㎡、4～7 月 4 半旬誘殺数 406 頭	ヒノキ球果結実数 中程度 3.5
2024 年度：越冬量 2.3 頭/㎡、4～7 月 4 半旬誘殺数 9,904 頭	ヒノキ球果結実数 少ない 1.9
2023 年度：越冬量 1.1 頭/㎡、4～7 月 4 半旬誘殺数 762 頭	ヒノキ球果結実数 中程度 3.7
2022 年度：越冬量 0.7 頭/㎡、4～7 月 4 半旬誘殺数 2,169 頭	ヒノキ球果結実数 中程度 4.4

(3) 7 月 5 半旬のヒノキ球果ビーティングによる成幼虫の捕獲虫数は、平年・前年よりやや少なかった。

捕獲虫数 0.9 頭（平年 6.8 頭、前年 4.4 頭） 詳細は防除所のホームページを参照のこと。

(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>)

5 防除上注意すべき事項

(1) 予察灯やフェロモントラップでの誘殺数が増加する時期と量に留意し、果樹園への飛来状況の把握に努める。

(2) 発生時期や発生量は地域や園によって大きく異なるため、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。

(3) 飛来状況を確認し、防除や袋掛け作業を徹底する。また、果樹カメムシ類は広範囲に移動することから、薬剤散布は広域で一斉防除を実施することで、高い防除効果が期待される。

ヒノキ球果口針鞘数

調査時期:2025年7月5半旬

調査地点		採取日	ヒノキ球果		カメムシ類 離脱予測時期
			口針鞘数 (本/果)	口針鞘が認められた 球果の割合(%)	
朝倉	筑前町夜須吹田①	7月23日	0.0	0	9月15日
	朝倉市朝倉宮野	7月25日	0.1	5	9月16日
	朝倉市杷木志波①	7月22日	0.0	0	9月14日
	平均		0.0	2	9月15日
久留米	久留米市田主丸森部	7月22日	0.6	35	9月11日
	うきは市吉井福益①	7月22日	0.0	0	9月14日
	うきは市浮羽小塩	7月22日	0.1	10	9月13日
	平均		0.2	23	9月13日
筑後	八女市黒木今②	7月23日	0.1	5	9月14日
	八女市立花飛形山②	7月24日	0.5	20	9月14日
	みやま市山川立山	7月25日	5.4	80	8月28日
	平均		2.0	35	9月8日
県北	筑紫野市吉木	7月23日	0.4	25	9月13日
	宗像市王丸①	7月18日	0.1	10	9月9日
	岡垣町糠塚	7月18日	0.0	0	9月10日
	飯塚市庄内山倉	7月25日	0.9	30	9月13日
	みやこ町勝山大久保①	7月18日	0.0	0	9月10日
	平均		0.3	22	9月11日
2025年 平均			0.6	20	9月12日
平均	2024年		4.6	81	8月5半旬
	2023年		0.5	17	9月3半旬
	2022年		2.2	55	9月1半旬
	2021年		1.4	49	9月5半旬
	2020年		0.8	39	9月2半旬
	2019年		1.5	50	9月2半旬
	2018年		7.3	92	8月4半旬
	2017年		0.7	27	9月1半旬

注1)口針鞘数は1地点当たり20球果調査

注2)新世代成虫のヒノキからの離脱時期は、1果当たりの口針鞘数が25本に達する時

$$* \text{予測式: } Y = 54.17 - 3.776x + 0.01937x^2$$

(Y:球果採集日から離脱までの日数、x:口針鞘数<7月5半旬調査結果のみ適用>)

○病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。
福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス
URL:<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/fukuoka-bouzyosyo.html>
または右QRコード①



○X (旧Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせをしています。
Xの本アカアカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス
URL: https://x.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②

